第２期　秩父別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

第２期人口ビジョン

Ⅰ.現状分析
◆1955 年以降、人口減少が続き、2020 年には、2,401 人まで減少。
◆2015 年から 2020 年の 5 年間で、人口が 213 人減少。15～16 年の 2 年間で 176 人減少したが、18 年～19 年は社会増となり、18 年は 34 年ぶりに人口増（3 人）となる。

Ⅱ.将来人口推計
◆社人研 2018 年推計では、2065 年には 567 人になり、生産年齢人口は 200 人まで減少、高齢化率は 57.8%まで上昇。

Ⅲ.人口将来展望
◆出生率向上・純移動率ゼロを目標設定
2025 年→2,216 人
2045 年→1,685 人
2065 年→1,385 人

第１期 総合戦略 実績（2015～2019 年度）

《総合目標》
◆2020 年 1 月の総人口 2,441 人維持
⇓
◆実績 2,401 人
不達成だったが、社人研推計 1,972 人⇒429 人の効果
⇓
★一定の成果あり★
第 2 期総合戦略～国・道の総合戦略を踏まえ、これまでの施策を継続しつつ、新たな事業を加え、成果向上を目指す。

第２期 総合戦略（2020～2024 年度 5 か年）

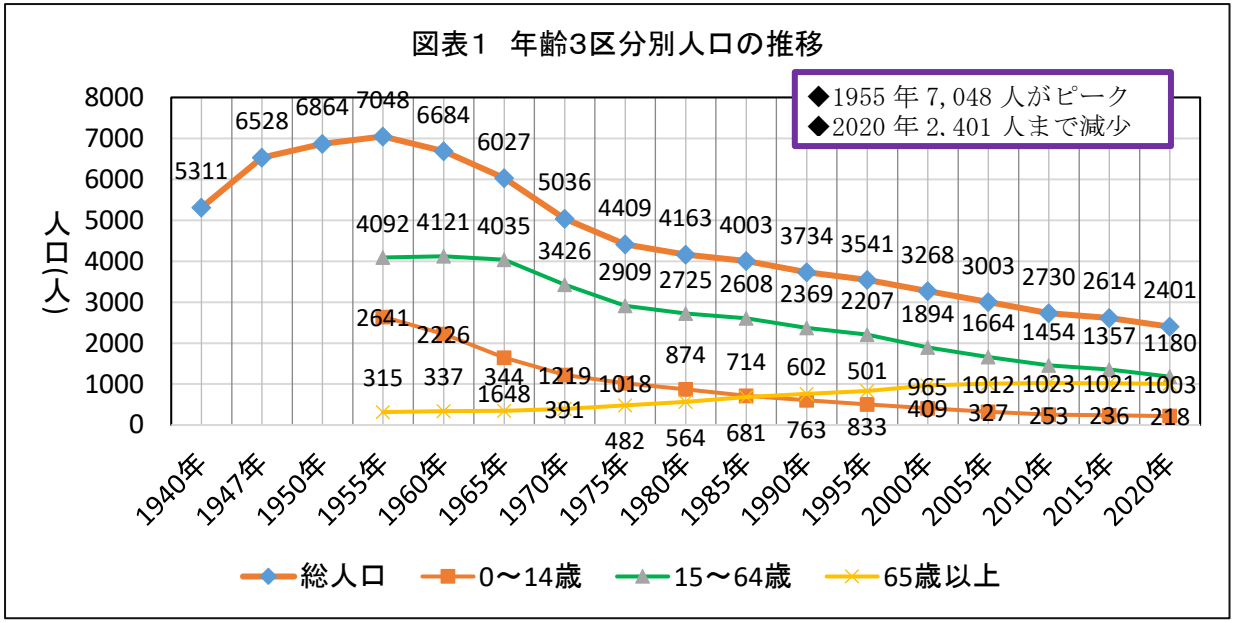
《総合目標》
◆2025 年 1 月　人口 2,216 人維持
◆住んでよかった、生まれてよかったと思えるまちづくり

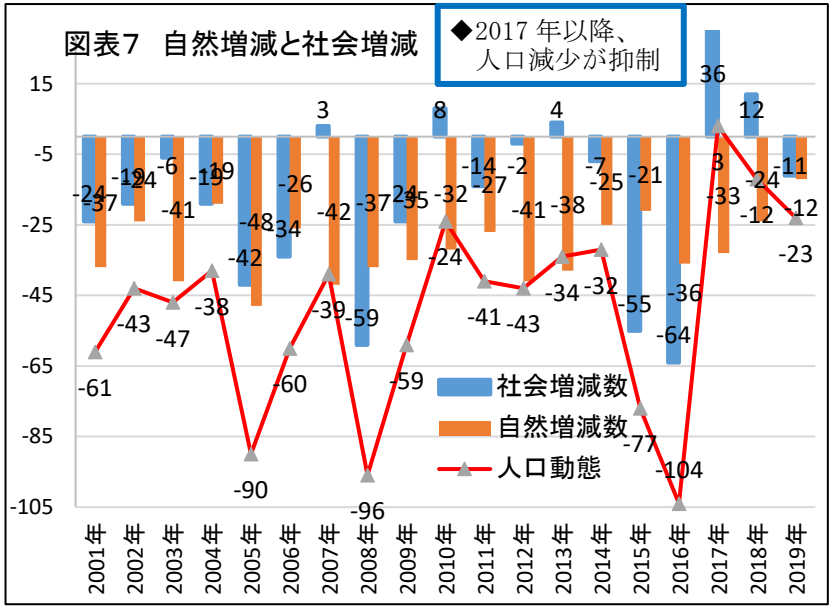
基本目標	施　策	実施事業
１．しごとをつくり、安心して働けるようにする	❶農業の振興	○担い手の育成・創出　○6 次産業化の取組　○農産物のブランド維持・育成
	❷商工業の振興	○商店街の活性化　○経営アドバイスや融資の支援
	❸人材育成・雇用対策	○農商工業の後継者及び新規就業者の育成・確保　○雇用促進
	❹企業誘致推進	○企業誘致推進
２．新しい人の流れをつくり、転入者を増やし、人の流出を防ぐ	❶移住定住促進	○空家等対策事業　○人口減少抑制対策強化　○東京圏等の都市部への PR ○都市との交流推進
	❷知名度向上・交流人口の増加	○地場産品 PR 強化　○観光施設等の整備・維持　○外国人観光客誘致
	❸教育環境の充実	○幼児・学校教育の充実　○小中学校施設等の整備　○子どものスポーツ趣味遊びの環境整備
３．結婚・出産・子育てを安心してできるようにする	❶結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	○結婚支援　○周産期医療・母子保険事業の充実　○子育て支援センターによる子育て支援　○安心できる医療体制の提供
	❷子育て支援の充実	○子育て世代の経済的負担軽減
	❸教育環境の充実（再掲）	
	❹働きやすい環境づくり	○認定こども園待機児童ゼロ　○放課後遊びの場提供　○子育て仕事の両立支援
４．将来にわたり安心して暮らせるまちづくり	❶経済・生活圏の形成	○地域公共交通の維持確保　○安全で快適なインフラの確保
	❷安全な暮らしの確保	○地域医療の維持・確保　○高齢者等が安心して暮らせるまちづくりの推進 ○犯罪や事故のない、災害に対応できる地域形成
	❸地域連携事業の推進	○北空知圏域をはじめとする広域連携の推進
	❹まちづくり・まちおこしの維新	○人材の育成・確保並びにまちおこし事業の推進

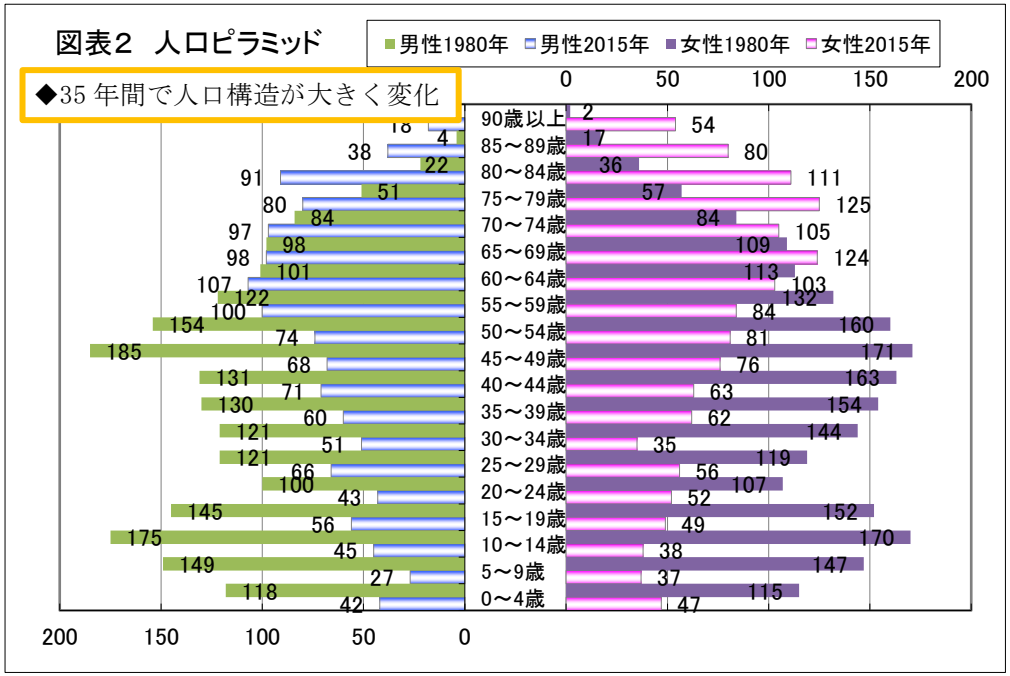
推進体制

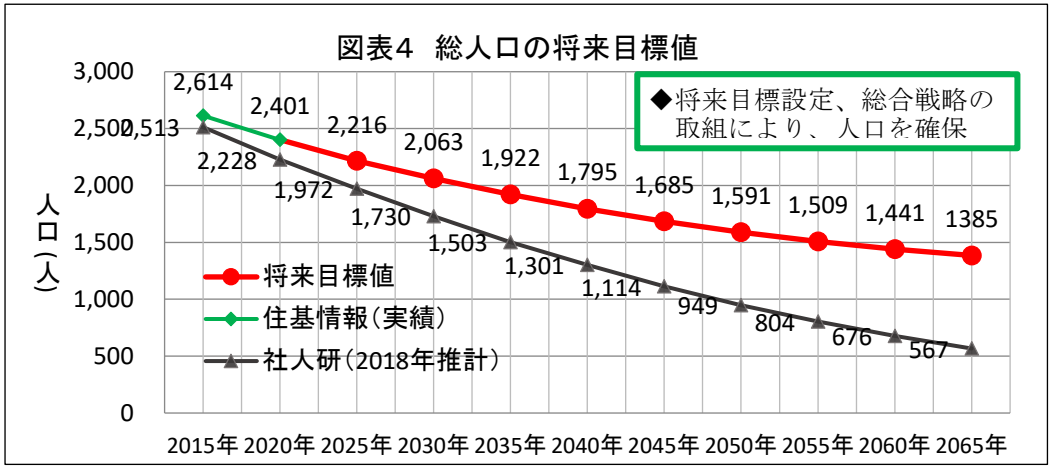
◆町長を本部長とする「秩父別町まち・ひと・しごと創生推進本部」とその下部組織である「推進部会」が各関係機関と連携を図り推進。
◆産官学金などの有識者で構成する「秩父別町まち・ひと・しごと創生会議」により、総合戦略に掲げる施策の効果や基本目標等の達成度検証。必要に応じ施策・事業を加えるなどの見直しを行い、効果の高い人口減少対策を推進。

第２期　秩父別町人口ビジョンのグラフ抜粋









年	将来目標	社人研（2018 年推計）	効　果
2025 年	2,216 人	1,972 人	244 人
2045 年	1,685 人	1,114 人	571 人
2065 年	1,385 人	567 人	818 人